

2023年4月27日

2023年度 鉄道・バス設備投資計画

安全対策とサービスの向上に総額124億円

ホームドアを8駅に設置、相鉄・東急直通線用車両2編成を導入

相模鉄道株式会社
相鉄バス株式会社

相鉄グループでは、2023年度の運輸業において、総額124億円（鉄道事業116億円・バス事業8億円）の設備投資を実施します。

鉄道事業〔相模鉄道株：本社・横浜市西区、社長・千原 広司〕では、安全・安定輸送を確保するため、全駅へのホームドア設置に向けた整備工事を進めており、今年度は、いずみ中央、ゆめが丘、星川、天王町、西横浜、平沼橋、上星川、和田町の8駅に順次設置する予定です。また、2023年3月18日に開業した相鉄・東急直通線用として導入している「21000系」（東急線内は目黒線直通用）を、さらに2編成導入予定で、計画していた全9編成の導入が完了します。

その他、各種保安設備の更新により、さらなる安全性の向上を図る他、お客さまへのサービス向上を図るため「デザインブランドアッププロジェクト※1」の統一コンセプトに基づき、既存車両や駅舎などのリニューアルを引き続き実施します。

バス事業〔相鉄バス株：本社・横浜市西区、社長・菅谷 雅夫〕では、大型乗合バス17両（うちハイブリッドバス9両）と高速バス3両、コミュニティバス1両を導入します。

詳細は、別紙のとおりです。



弥生台駅に設置したホームドア



「21000系」（東急線内は目黒線直通用）

(記号：◎今年度竣工予定・○継続)

【鉄道事業】 116億円

1. 安全・安定輸送の確保

○ホームドアの設置

駅ホームにおける安全性向上のため、相鉄線全駅にホームドアを順次設置しています。ホームドアの設置にあたっては、国および地方自治体の協力のもと進めており、2022年度までに18駅に設置が完了しています。今年度は、いずみ中央、ゆめが丘、星川、天王町、西横浜、平沼橋、上星川、和田町の8駅に設置する予定で、これにより、海老名駅を除く全駅での設置が完了します。



弥生台駅 ホームドア

○車内防犯カメラの設置

鉄道車両内の安全やセキュリティーの向上のため、防犯カメラの設置を進めていきます。今年度は、10000系6編成に設置する予定です。

○相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業

踏切事故と交通渋滞の解消や地域の一体化を図るため、鶴ヶ峰駅を含めた上下線約2.8kmを地下化により立体交差化する予定です。2022年11月に工事を着手しており、今年度は本工事に向けた準備工事を進めていきます。なお、本事業は横浜市の都市計画事業です。

2. サービスの向上

◎「21000系」の導入

2023年3月18日に開業した相鉄・東急直通線用車両「21000系」（東急線内は目黒線直通用）を順次導入します。今年度は、2編成・16両を導入予定で、これにより、全9編成の導入が完了します。

○海老名駅およびゆめが丘駅の改良

<海老名駅>

北口改札および中央改札2階部分の増設、生活支援施設の整備を実施するとともに、駅舎の建て替えを行います。今年度も引き続き、新駅舎の鉄骨製作と架設を実施します。なお、本工事は、鉄道駅総合改善事業を活用して実施しています。



相鉄本線 海老名駅北口

<ゆめが丘駅>

駅周辺の開発に合わせて駅舎のリニューアルを行います。隣接する商業施設側に新たに改札を設置する他、「デザインブランドアッププロジェクト」の統一コンセプトに基づき、コンコースやホームのデザインを統一し、愛される駅を目指します。

※イメージ図は、現時点での計画であり、今後変更になる可能性があります。



ゆめが丘駅 新改札完成イメージ

(記号：◎今年度導入予定)

[バス事業] 8億円

◎乗合バスの導入

- ・ドライバー異常時対応システム (EDSS) ※2 付きバス：17 両
(うちハイブリッドバス※3 9 両を含む)
- ・高速バス：3 両
- ・コミュニティバス：1 両



導入予定の高速バス(左)
ハイブリッドバス (右)

※1 「デザインブランドアッププロジェクト」とは・・・

相鉄グループ創立 100 周年 (2017 年 12 月) と都心相互直通運転 (2019 年 11 月に相鉄・JR 直通線開業、2023 年 3 月には相鉄・東急直通線が開業) に向け、2015 年 11 月に本格始動した取り組み。お客さまとの最大の接点となる鉄道の駅舎や車両、駅に隣接する商業施設などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指しています。

※2 ドライバー異常時対応システム (EDSS) とは・・・

EDSS (エマージェンシー・ドライビング・ストップ・システム) の略で、運転士に異常が発生した場合、運転席と客席最前部に設置された非常ボタンにより車両を緊急停止させる安全装置。装置が作動すると徐々に車が減速し、警告灯ハザード、クラクションにて乗客および周囲に緊急停止を報知します。また、バスロケーションシステムを利用して、異常発生を営業所へ知らせます。

※3 ハイブリッドバスとは・・・

内燃機関 (エンジン) をモーター (電気) でアシストして走行するバス。環境への一層の配慮をするとともに、燃料費などのトータルコストを低減。